

国際ロータリー第2680地区

2023-24年度 第8回 戦略計画委員会 議事録

日時 : 2024年3月22日(金) 16:00~18:00

場所 : 神戸三宮東急 REI ホテル ローズ

参加者 : 安行英文ガバナー(三田)、城守ガバナーノミニエ(姫路)、白井務子ガバナーノミニエ・デジグネート(姫路東)、若林学代表幹事(三田)、山口宰次期代表幹事(神戸西)、武本正照次期ガバナー補佐(尼崎北)、高瀬英夫委員長(西脇)、矢野宗司副委員長(加古川中央)、神谷誠治(尼崎中)、杉本啓次(伊丹)、永瀬隆一(芦屋川)、竹原善記(宝塚)、樋口典明(明石東)、津田豊(津名)、岡田和也(姫路西)、中村孝秀(龍野)、阪本渚子(宝塚ユニバース衛星)

議事録作成: 阪本渚子

次第

1. 開会挨拶

安行ガバナー

2. 地区チーム研修セミナー(2月18日)報告 高瀬委員長

高瀬委員長が地区ビジョンと戦略計画についてと、セミナーでのアンケート結果を説明された。(※別紙資料参照)

3. 3月10日(日)地区ラーニング委員会報告

(1) 開催主旨、目的、内容

矢野次期ラーニングファシリテーター

(※別紙資料参照)

- ・次年度のラーニング委員会委員は原則として各委員会の委員長。
- ・委員会同士の横の繋がりを作っていくことがラーニング委員会の目的であり、第1回では各委員長の顔合わせをした。行動計画委員会からは永瀬次期副委員長が出席。
- ・年6回の開催予定。第2回は5月か6月を予定。
- ・RLI委員会が毎回ファシリテーションのために出るのが負担となってくるため拡大委員会という形で、各委員会の委員長や副委員長を対象としてファシリテーション手法について勉強会をする予定。今後はRLI委員会に頼らずに各委員会の中でセミナーをするときにファシリテーション手法で行うことを可能にすることが目的。

- ・RLI とファシリテーション手法は同じではなく、RLI はファシリテーション手法を使ってテキストをもとにロータリーを学習するスタイルのこと。テキストをもとにグループディスカッションをし、そこで中心的に進行役をするのがファシリテーター。
- ・ファシリテーション手法を今後、セミナーにも取り入れて頂きたい。拡大委員会としてお声がけをしていただくので参加してほしい。

(2) 行動計画委員会の今後の役割 永瀬次期副委員長

(※別紙資料参照)

イ) 4月29日地区研修・協議会の講演内容、講師について

- ・戦略計画委員会は午後からの会長・幹事部門にて30分与えられており、対象は会長エレクト・幹事エレクト約140名。
- ・スピーカーは未定（懇親会で決める）。
- ・地区チーム研修で高瀬委員長が話した内容を基に準備をする。ガバナー補佐から各クラブに進捗状況を意識して聞いて頂き、引き続き呼びかけをしてもらいたい。
- ・RIの理事会で今後毎年のRI会長のテーマやロゴは廃止するということが決定されており、ますますビジョンや戦略計画が単年度でなく複数年度でしていく必要がある。そのことを踏まえた話を30分する。

ロ) 今後の戦略計画委員会について

- ・昨年度の委員会では第2期の地区ビジョンと戦略計画を作り、地区大会で上程して採択頂いた。今年度はそれに基づいて各クラブに浸透していくようにセミナーを開催した。次年度はこれをいかに各クラブに呼びかけながら浸透させていくかが大きなテーマになってくる。
- ・次年度は各グループから13名のガバナー補佐に加えてガバナーが指名されたガバナー補佐が2名おり、そのお二人は委員会担当となる。お二人は行動計画委員会にもお声がけをし、出席を要請する予定。
- ・今年度に引き続き天羽クラブ管理運営委員長と、次年度からは会員増強委員長となる前川委員にも委員会の案内をして委員会同士の横の繋がりを大切にしていく。

ハ) 次年度の予定

- ・7月28日 クラブ活性化ワークショップ（会員増強委員会、公共イメージ委員会、DEI小委員会合同）
- ・11月10日 ロータリー研修デー（最大で8つの委員会が開催を予定）
- ・青少年奉仕委員会、危機管理委員会、ローターアクト委員会、学友委員会は8月

頃開催予定。

- ・ロータリー財団は委員会の希望に合わせる。
- ・米山記念奨学委員会は7月21日にセミナーを単独開催。

4. PETSに参加して感じたこと、その他ご意見について

(矢野) 参加型にすることで、名刺交換ができたことが1番良かったという声が多かった。

(山口) 1泊2日にして本当によかった。懇親会でも次期ガバナー補佐に各グループを紹介してもらい、懇親というところもよかった。2770地区の中村PGのご講演もすごくよかった。入会式の様子を流して、感動を与えられるような会長になりましょうというメッセージが伝わった。

→当日使用のスライド資料はガバナー事務局から共有可。

(城) PETSを初めて受けた。現役の会長3人の体験談がとても良く、この地区が抱えている問題について具体的に話してもらった。クラブの合併の問題について、説明をして頂いたことが印象に残っている。

(武本) 2日間間延びせず、居眠りしている参加者はいなかった。とても充実した二日間だった。

(白井) オープン例会を開催することで事前にクラブの雰囲気を知った上で入会することが出来る。女性はどういう理由で入会を断られるのか。

→男同士の話が出ない。和が乱れる。などの意見が出ることもある。

(矢野) 古いクラブほど、女性の入会を認めていない傾向がある。現在、当地区では2割ほどが女性会員を入れていない。

(杉本) 女性会員の話がクラブで出てもすぐに消えてしまう。若手会員からは女性会員を入れるべきとの声が出てきているので、時間の問題もあるかと思う。

(竹原) クラブ合併について、宝塚中RCのチャーターメンバーが7人ほど在籍している。宝塚中RCは宝塚RCにとっては孫の関係であり、そのことも上手くいったという理由だと考える。現在女性会員は8人くらいで区内では比率が1番高い。クラブでは女性同士の結束が強く、仲良くやっている。男性会員からしても、何でもお願いしやすい。女性会員が多ければ多いほど楽しいクラブになるのではないか。

(樋口) クラブ合併時に明石南ロータリークラブは女性会員がおらず、明石西ロータリークラブは女性会員が1名いた。合併して現在は女性会員が5名いるが非常に楽しい。女性会員ならではの発想がある。

(津田) 淡路北ロータリークラブが解散したときに津名RCに入会するように勧めたが、お互いのクラブの文化と歴史があるため、相容れない部分もあった。

(高瀬) 宝塚RCについては阪上さんに声掛けをしてもらったおかげで合併が実現したとのことでタイミングも重要と思う。

(竹原) 合併についてはクラブで誰か説得してくれるような人が必要。人数が少なくなると例会もつまらなくなる。

(武本) 行動計画は 3 年を目途として作るということは会長ノミニーの決定を早める必要があるということか。

→12月のクラブ総会の前に会長ノミニーを決定する必要があり、クラブ細則を変更する必要がある。

5. 今後の委員会開催日日程について 永瀬幹事

2024年4月24日(水) 16:00～

2024年5月30日(木) 16:00～

2024年6月27日(木) 16:00～ 内容は今のところ未定

6. その他

- ・RI 会長テーマがなくなるのは城ガバナーノミニー年度からであり、各クラブもそれに沿う形になる。いきなり方向転換するのは難しいと思うが、積極的に会長から会員に単年度制から複数年度性への移行について伝えていく必要がある。
- ・RI ポータルサイトから三か年計画のフォーマットがダウンロード可能で、3月までに提出するようにRIからは言われているが現実には難しいと思う。まずは次年度の単年度の計画を立てた上で3か年計画をできる範囲で考えてほしいとお願いをしている。

7. 閉会挨拶

城ガバナーノミニー